

## 東北大学会計大学院における入学試験の改編について —「会計・経理職等従事者特別選抜」の廃止と「自己推薦入試」の導入—

東北大学会計大学院では2020（平成32）年4月以降入学者を対象とする入学試験から、「会計・経理職等従事者特別選抜」を廃止し、「自己推薦入試」を導入いたします。

### 1 実施時期

2020年4月以降の入学者を対象とする入試より（2019年9月実施の入試）<sup>1</sup>。

（当面は9月と2月に実施予定です，9月入試は同年10月および翌年4月入学者対象，2月入試は同年4月入学者対象の入試となります）

### 2 本入試が対象とするコース

会計リサーチコース（入学定員5名）およびビジネスアカウンティングコース（2020年4月より，入学定員10名）<sup>2</sup>

\* 本入試を通じて公認会計士コースに入学することはできません。

### 3 自己推薦入試の対象（詳細は，2019年4月頃公表予定の募集要項でご確認ください）

本入試については広く門戸を開放するため，東北大学経済学部在籍者および卒業生は出願できません（ただし，以下で社会人の区分に該当する場合は除きます）<sup>3</sup>。本入試では，区分A（社会人：出願時に通算して2年以上の社会経験〔在職の経験や継続的な社会的活動への参加経験〕を有する者），区分B（外国人：日本国籍を有さず，かつ，日本国の永住許可を得ていない者），区分C（他大学，他学部等：東北大学経済学部以外に在籍する学生）の3つの区分を設定します<sup>4</sup>。

### 4 自己推薦入試の選考方法

本入試では書類選考をもって第1次選抜とし，第1次選抜合格者に対して口述試験を課します。書類選考は志願者が自ら選択して提出した学力評価の参考となる資料に基づいて評価がなされます（ただし，志願理由書および学習計画書は全員に，さらに上記区分AおよびBの方は学部の学業成績，区分Cの方は職務経歴書の提出を求めます）。例えば，英語能力に関するスコア（TOEIC，TOEFL，IELTSなど），資格，技能検定に関する証明（公認会計士，税理士，司法書士，IT関連資格，BATIC，IFRS検定，簿記検定など），GMATスコア，その他受賞経歴などが考えられます（各資格試験で科目合格をされている場合はそれに係る証明書類）。

口述試験は各受験者個別に複数の口述試験委員から口頭試問（30分程度）を受けるという形式で行います。

### 5 第1次選抜の実施について

本入試が対象とするコースの入学定員の合計（15名）の2倍を超える場合のみ実施予定です。

本文書に関するお問い合わせは，  
会 計 大 学 院 係  
(as-jimu@grp.tohoku.ac.jp) までお願い  
します。

<sup>1</sup> 2019（平成31）年10月入学の志願者に対しては，従前通り，会計・経理職等従事者特別選抜を実施します。

<sup>2</sup> ビジネスアカウンティングコースの詳細については別紙をご参照ください。

<sup>3</sup> 東北大学経済学部在籍者は「一般選抜」，「東北大学経済学部生を対象とする試験」，「3年次学生を対象とする試験」を受験可能です。

<sup>4</sup> 東北大学経済学部所属する学部研究生のうち区分Bに該当する者は当該区分で出願ができます。